

♥いつもの備え~月1回の防災チェックを! 毎月1回、身の回りにあるモノや人のつながりを見直すことが、災害時に役立ちます。

①モノを備える

3日間使うものを、準備しましょう。リュックやキャリーバッグに入れておくと、いざという時に素早く行動できます。

障がいのある子どもに必要なモノ



薬 (3日分)



お薬手帳



おむつ
おしりふき

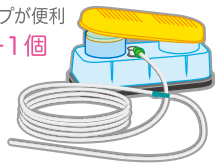
たんの吸引に必要なモノ



吸引機 充電式タイプが便利
充電バッテリー1個



吸入器 (ネブライザー)
充電式タイプが便利

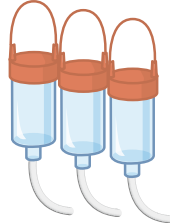


足踏み式吸引器
両手が使えるので
気管切開している方に便利

**けい かん えい よう
経管栄養に必要なモノ**



栄養剤
(3日分)



栄養ボトルと
接続チューブ
(3~4個)

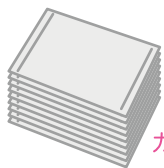


シリンジ

**き かん せ っ かい
気管切開している場合に必要なモノ**



アンビュー



ガーゼ

②避難ルートを確認する

災害時に危険が差し迫った時、自宅近くの避難所に逃げることで、子どもの命を守ることができます。避難所になる学校、公共施設までの行き方を確認しましょう。

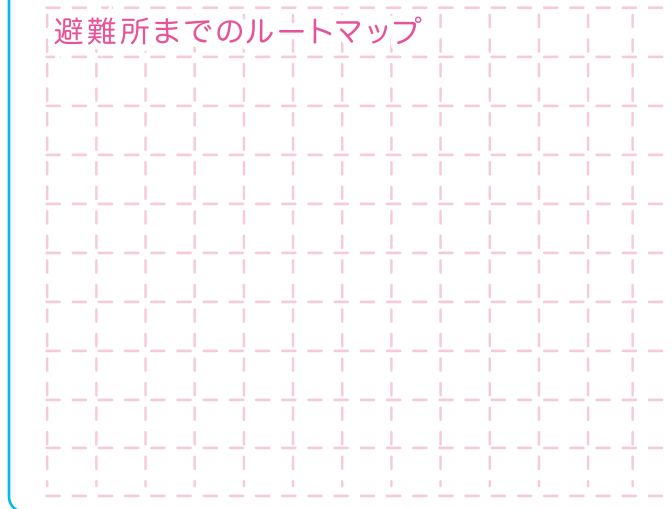
避難所までのルートメモ

避難所の名称:

自宅から避難所までのルート確認

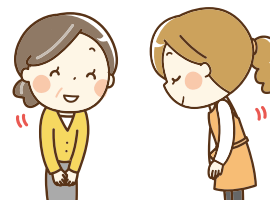
- 階段はありますか? (ある・なし)
- 坂道はありますか? (ある・なし)
- 段差はありますか? (ある・なし)
- 施設内で気をつけることはありますか?

避難所までのルートマップ



③地域の人たちとつながる

安全に避難するためには、地域の人たちの力も必要です。日頃から親子であいさつをすることで、障がいのある子どものことをよく知る人を増やしましょう。



もしもの時の豆知識

停電時も情報収集できる複数の手段を

●携帯電話やスマートフォン



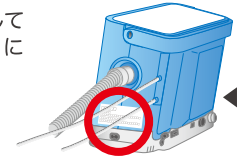
●ラジオやネットラジオ

●カーラジオ・TVチューナー付カーナビ



医療機器メーカーの連絡先を確認する

ヘルプカードに記入しておく、故障した時に役立ちます。



◀機械横や取扱説明書をチェック!

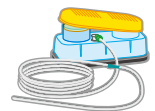
停電時のたん吸引は、モノで乗り切る

●シリンジと吸引チューブ

たんのある場所までチューブを入れ、シリンジを引く。大きめのシリンジ (30cc、50cc)



●足踏み式吸引機



●鼻吸引器

冬は身近なモノで、子どもの体を温める

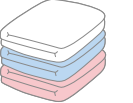
●使い捨てカイロ
マットの下にカイロを入れる



●新聞紙
足先を新聞紙で包む



●タオル
体にタオルを巻き、洋服を着る



無事を知らせるなら! NTT災害用伝言ダイヤル[171]

録音のしかた

- ①⑦① にダイヤル
- ▼ガイダンスが流れます
- ① をダイヤル
- ▼ガイダンスが流れます
- 被災地の電話番号をダイヤル
(×××)×××-××××

再生のしかた

- ①⑦① にダイヤル
- ▼ガイダンスが流れます
- ② をダイヤル
- ▼ガイダンスが流れます
- 被災地の電話番号をダイヤル
(×××)×××-××××

※この他にも、災害用伝言板 **web171** もあります。